

2026 年 10 月 13 日

Jトラストグローバル証券株式会社

関係者各位

JTGS 証券、AI 社会を支えるアジアの成長企業へ投資する新ファンド 「イーストスプリング・アジア・テクノロジー関連株式ファンド」の当初募集を開始！

JTGS 証券（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：矢田耕一）は、2026 年 10 月 27 日に設定予定の、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社（以下、「イーストスプリング社」という。）のファンド「イーストスプリング・アジア・テクノロジー関連株式ファンド（愛称「アジアテック」）（以下、「本ファンド」という。）」の当初募集を、2026 年 10 月 13 日より開始いたしました。

近年、生成 AI の普及拡大を背景に、半導体やデータセンターをはじめとする AI 関連インフラへの投資が世界的に拡大しており、その活用範囲もインフラ整備段階から企業や社会全体へと広がりつつあります。なかでもアジアは、半導体、先端パッケージング、メモリ、ネットワーク機器など、AI 社会を支えるテクノロジー・サプライチェーンの中核を担っており、世界的なデジタル化の進展を支える成長地域として注目されています。

このような市場環境を背景に、イーストスプリング社は、アジアのテクノロジー分野における成長機会に着目し、本ファンドを組成しました。30 年以上にわたり培ってきたアジア投資の知見や運用ネットワークに加え、長年テクノロジー・サプライチェーンの調査・分析を行ってきた台湾運用チームの専門性を活用する本ファンドを取り扱うことで、特に成長性と競争優位性を備えたアジアのテクノロジー関連企業へ、新規設定時から投資いただける機会をご提供いたします。また、「全世界株式（オールカントリー）」や「米国株式（S&P500）」といったパッシブ型投資信託で資産運用されているお客さまにも、投資対象地域や成長テーマの違いを通じて分散投資の効果が期待できるものと「グローバル投資の JTGS 証券」は考えております。

当社は引き続き、商品ラインナップの拡充に加え、分散投資の実現に向けた独自性の高い商品の取り扱いを通じて、お客さまへ多様な投資先と運用機会を提供してまいります。

■「イーストスプリング・アジア・テクノロジー関連株式ファンド」について

フ ア ン ド 名	イーストスプリング・アジア・テクノロジー関連株式ファンド 【 愛称：アジアテック 】	
	3 ヶ月決算・予想分配金提示型	年 2 回決算型
委 託 会 社	イーストスプリング・インベストメンツ株式会社	
商 品 分 類	追加型投信／内外／株式	
フ ア ン ド の 属 性 区 分	投資対象資産：株式（投資信託証券※）	
	投資対象地域：日本、アジア	
フ ア ン ド の 属 性 区 分	投 資 形 態 ： ファンド・オブ・ファンズ	
	為 替 ヘッジ ： なし	
フ ア ン ド の 属 性 区 分	※投資信託証券への投資を通じて実質的な投資対象とする資産は、「アジアのテクノロジー関連企業の株式等」です。	

決 算 頻 度	年 4 回 ※毎年 1 月、4 月、7 月、10 月の各 23 日（休業日の場合は翌営業日）	年 2 回 ※毎年 4 月 23 日、10 月 23 日（休業日の場合は翌営業日）
当 初 申 込 期 間	2026 年 10 月 13 日～2026 年 10 月 26 日まで	
信 託 設 定 日	2026 年 10 月 27 日	
フ ァ ン ド の 特 色	当ファンドは、主として、アジアのテクノロジー関連企業の株式等※に実質的に投資を行います。アジアのテクノロジー分野の成長機会に着目し、セクター別の投資テーマや見通しに基づくトップダウン分析と、個別銘柄のボトムアップ分析を組み合わせ、投資対象企業を厳選することで、中長期的な信託財産の成長を目指します。 ※「アジアのテクノロジー関連企業の株式等」には、テクノロジーの発展から恩恵を受けると考えられる企業の株式等も含まれます。また、日本を除くアジアの企業の株式等を中心に投資を行いますが、市況動向や投資判断等により、日本の企業の株式等に投資する場合があります。	

※本投資信託は、NISA の「成長投資枠（特定非課税管理勘定）」の対象です。

イーストスプリング・アジア・テクノロジー関連株式ファンド（3 ヶ月決算・予想分配金提示型）ページ：

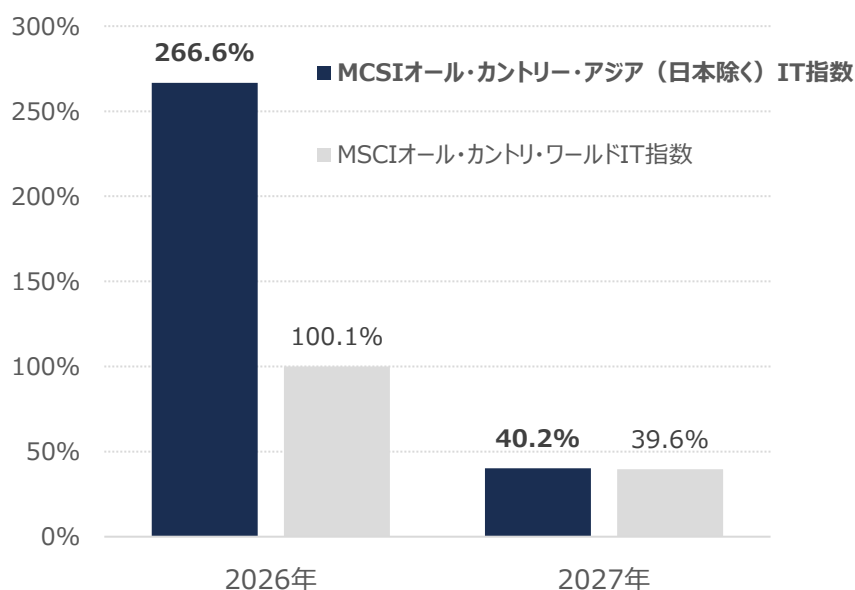
https://www.jtg-sec.co.jp/toushin/fund/detail.php?label=easts_asia_tech_m3

イーストスプリング・アジア・テクノロジー関連株式ファンド（年 2 回決算型）ページ：

https://www.jtg-sec.co.jp/toushin/fund/detail.php?label=easts_asia_tech_y2

＜アジア・テクノロジー企業の利益成長見通し（前年比）＞ ※2026 年 9 月末時点

以下グラフが示すとおり、アジア・テクノロジー企業は、世界の IT 企業を上回る利益成長が見込まれており、今後の成長が期待されています。



出所：Bloomberg に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成資料を参考に、JTG 証券作成。

<イーストスプリング・インベストメンツとは>

イーストスプリング・インベストメンツは、1848 年設立以来 175 年以上にわたり金融サービスを提供している英国プルデンシャル・グループの資産運用会社として、約 2,910 億米ドル（約 47 兆円、2026 年 6 月末現在、1 米ドル＝162.32 円）の運用資産を有しています。イーストスプリング・インベストメンツは日本をはじめシンガポール、中国、香港、インド、インドネシア、マレーシア、タイ、台湾、ベトナム、ルクセンブルグ、米国の 12 のマーケットで資産運用事業を展開しています。イーストスプリング・インベストメンツは、国際連合から支持を受ける責任投資原則（PRI）の署名機関として、投資責任原則に基づく ESG を投資決定プロセスに導入することに取り組んでいます。

<英国プルデンシャル社とは>

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているプルデンシャル・ファイナンシャル社、および英国の M&G 社の子会社であるプルデンシャル・アシュアランス社とは関係がありません。イーストスプリング・インベストメンツの最終親会社は、アジア・アフリカ地域を中心に業務を展開しています。ロンドン、ニューヨーク、香港、シンガポールの証券取引所に上場しています。

■お取引にあたってのご留意事項

当社で取扱う商品等へのご投資には、所定の手数料や諸経費をご負担いただく場合があります。また、各商品等には為替や価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。商品毎に手数料およびリスクは異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書等をよくお読みください。

■本ファンドの投資リスクについて

本ファンドは、主にアジアのテクノロジー関連企業の株式等を実質的な投資対象としています。本ファンドの基準価額は、組み入れた有価証券の値動き等の影響により上下するため、これにより元本損失が生じることがあります。また、実質的に投資する外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行わないため、為替相場の動きにより元本損失が生じることがあります。本ファンドは、投資元本および分配金の保証された商品ではありません。

本ファンドのお取引にあたっては、投資信託説明書（交付目論見書）をよくお読みください。

■JTG 証券について

JTG 証券は、創業から 60 年を超える歴史とともに、既存の常識や慣習にとらわれることなく、新たな価値の創造に挑戦し続ける証券会社です。

「お客さまをはじめとするすべてのステークホルダーから信頼され、金融機関として持続的に社会に貢献できる会社を目指す」を経営の根幹に据え、金融業界を取り巻く環境が大きく変化するなかでも、私たちは変化に対応するだけでなく、既成概念にとらわれない発想と挑戦を通じて、新たな価値を創造し続けることを目指しています。

「グローバル投資の JTG 証券」「スタートアップ支援の JTG 証券」「ウェルスマネジメントの JTG 証券」という 3 つのコア領域において金融の新しい可能性を切り拓いてまいります。

以上

<この件についてのお問い合わせ>

Jトラストグローバル証券株式会社 総合企画部

電話番号 03-4560-0212

メールアドレス keiei_support@ma.jtg-sec.co.jp

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 35 号

貸金業者登録番号 東京都知事(2)第 31946 号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人資産運用業協会、日本貸金業
協会会員 第 006278 号